

備前市事務事業評価表

事業の概要			
事務事業名	土地区画整理事業	コード	01-01-06-01
事業開始年度	H.10	根拠法令・要綱等	都市計画法
総合計画	大項目 基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり	問合せ先
	中項目 基本施策	生活しやすいまちづくり	担当課(室)
	小項目 施策	土地区画整理	都市整備課
		職・氏名	都市建築係長 磯本直紀
		電話	0869-64-1834

事業の実施			
対象(誰・何に対して)	市の活性化と人口の定住化のため		
目的(何のために)	都市基盤の整備や、密集地の環境改善など一定地域を総合的に整備し、合理的な土地利用を推進するため、速やかな整備、充実に積極的に推進するため		
行政活動(どのような方法で)	計画の検討、土地区画協議会会員として要望や意向、アンケートの提出をすること及び会費の納入の事務。		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	土地区画整理の全国的な動向把握		

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	要望・意見書の提出	回	1	1	1
	会費納入事務	回	1	1	0
	事業費	千円	20	25	0
	直接事業費		0	0	100
	事業費計		20	25	100
	財源	千円			
	国・県・市支出金				
	受益者負担				
	一般財源		20	25	100
必要人員	人	0.00	0.00	0.01	
結果指標①	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	要望・意見書の提出	説明			
	結果指標量	回	1	1	1
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	20,000	25,000	100,000
	単位当たりコスト	円	20,000	25,000	100,000
結果指標②	結果指標量	説明			
	対前年比	%	-		
	活動コスト	円			
	単位当たりコスト	円			

事業の成果			
成果指標名	要望・意見書の提出	式又は説明	現在事業休止中
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	1.00	1.00	1
対前年比	-	100%	100%
到達目標値	1	到達目標年度	



事業の目的、対象、内容を考えながら目的・意図の達成を評価して下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
妥当性の評価	目的	<input checked="" type="checkbox"/> 関法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	妥当性評価<A~E> 課題認識 D
	対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要はない	土地区画整理事業について速やかな整備、充実に積極的に推進するため、協議会に要望書などを提出する必要がある。
	行政活動	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない	
	事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	
効率性の評価	市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	効率性評価<A~E> 課題認識 D
	コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	事業が実施できるように、他部署と連絡調整を行い、要望、意見の集約につとめる。
	手段	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
	職場	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> 課題認識 D
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	現在は事業をしていないため、協議会への加盟も取りやめている。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成20年度の状況		説明	事業休止中
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input checked="" type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
目標値	結果指標量①	1回	結果指標量②
	成果指標量		1.00

総合評価	評価区分<A~E>	
現在、土地区画整理事業は中断していることや、市町合併による新都市計画のうえからも、今後事業を検討していくことが必要である。		

平成21年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了
--------------	--	--	---------------------------------------

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果